

目指すべき姿

令和5年9月に福井県独自の取り組みとして打ち出した「Fukui Forest Design^{※1}」を軸にした各種施策により、山の価値を最大化し、「儲ける・稼げる林業」と「山村地域の活性化」を目指していく。

※1：収益性の高い森林において「大きな林業」と「小さな林業」を組み合わせた福井県独自の林業

基本理念（案）

儲ける林業・稼げる林業・地域を支える林業

計画の全体像

1. 森林のゾーニング

人工林12万haを収益性と災害リスクを基にゾーニングし、資源の循環利用と環境保全に適した森林整備を推進

- ① 災害リスクの低い林業適地では、「大きな林業（ふくい型林業経営モデル）」による施業を推奨
- ② 人家裏などの非皆伐施業が適した地域では、「小さな林業（自伐型林業）」等による小規模・多間伐施業を推奨
- ③ 収益性の低い林業不適地では、公的整備による針広混交林へ誘導するなど、自然力を活用した森林施業を推奨

2. 施策の方向性

① 「Fukui Forest Design」推進プロジェクト

○「主伐・再造林・保育など森林施業の低コスト化」と「原木の価格に応じた需要の創出」により循環型林業を行い、「儲ける・稼げる林業」を実現。また、主伐の拡大や主伐後の再造林や保育を担う「人材の育成・確保」を推進

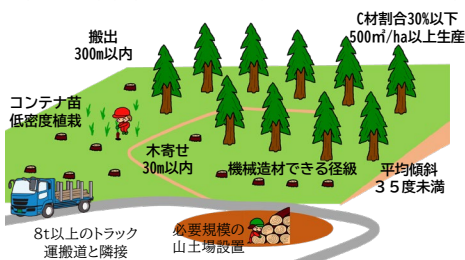
大きな林業・小さな林業の適地のイメージ例



大きな林業（ふくい型林業経営モデル）

◆主伐等の低コスト化

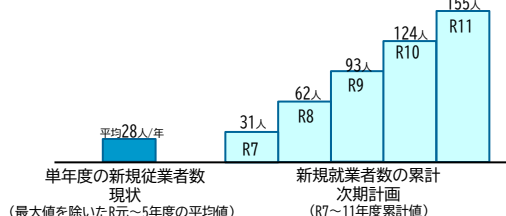
主伐地の集約化・土壌の整備等によりコストを低減



ふくい型林業経営モデル地のイメージ

◆人材の確保・育成

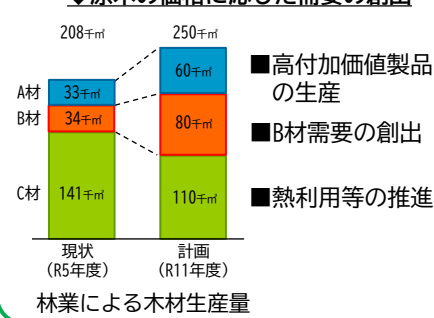
入職の促進、離職防止および林業カレッジにより林業従事者を確保・育成



新規従業者数の現状と計画

県産材の需要拡大の推進

◆原木の価格に応じた需要の創出



林業による木材生産量

合理的な流通システムによる安定供給

「儲ける・稼げる林業」

○簡易な機械で木材生産を行う自伐型林業と森林を活用したトレイルやMTBレースの開催など森林ビジネスの展開により『山村地域の活性化』を推進

小さな林業（自伐型林業と森林ビジネスの展開）



地域おこし協力隊の採用促進



自伐型林業大学校等への支援



森林所有者からのフィールド確保



森林を活用した半林半X

- ・自伐型林業を推進するために移住・定住を促進
- ・自伐型林業団体の設立や既存団体で活動しやすい環境づくり
- ・自伐型林業の活動フィールドの確保
- ・儲かる半林半Xのモデルづくり

「山村地域の活性化」

② 「森林を『守り』『活かし』『慈しむ』」推進プロジェクト

○災害等から暮らしを守る森づくりを推進し、森林の多様な活用などを図りながら、森林の保全を推進。緑と花の県民運動の永続的な展開

災害対策等

- 山地防災力を強化した治山事業等の推進
- 公益的機能が発揮できる森林づくりの推進

森林ビジネス

- 特用林産物の生産振興および地域資源を活用した新たな森林ビジネスの創出

県民運動

- 全国育樹祭の開催理念を承継した緑と花の県民運動の永続的な展開